第31回日本総合病院精神医学会総会プログラム

テーマ:リエゾン精神医学の深まりと拡がり

<特別講演>

高齢者医療とエンドオブライフ・ケアの倫理

11月30日(金) 14:10~15:10(第1会場)

座長:加茂登志子(若松町こころとひふのクリニック)

演者:会田 薫子 (東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター)

<会長講演>

私が考えるこれからのリエゾン精神医学の深まりと拡がり

11月30日(金) 11:30~12:00(第1会場)

座長:保坂 隆(聖路加国際病院リエゾンセンター)

演者:西村 勝治(東京女子医科大学医学部精神医学講座)

<教育講演>

教育講演 1. リエゾン精神科医のためのガイドライン活用術

11月30日(金) 14:10~15:10(第2会場)

座長:大坪 天平 (東京女子医科大学東医療センター精神科)

演者:橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部)

市橋 香代 (東京大学医学部附属病院精神神経科)

教育講演 2. ニューロモデュレーションのこれから

12月1日(土)14:10~15:10(第3会場)

座長:川嵜 弘詔(福岡大学医学部精神医学教室)

教育講演 2-1. 反復性経頭蓋磁気刺激法 (rTMS) の過去・現在・未来

演者:野田 賀大 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

教育講演 2-2. 脳深部刺激療法 (DBS) ―安全面. 倫理面の課題―

<招待講演>

招待講演 1. Integrating mental and physical health care - using data to win hearts and minds

12月1日(土)11:20~12:20(第1会場)

座長:西村 勝治(東京女子医科大学医学部精神医学講座)

演者: Matthew Hotopf (Vice Dean of Research, Institute of Psychiatry Psychology and Neuroscience, King's College London / Director, NIHR Biomedical Research Centre at the Maudsley)

招待講演 2-1. Subtyping Insomnia: Objective vs. Subjective Insomnia

12月1日(土)14:10~14:40(第1会場)

座長:保坂 隆(聖路加国際病院リエゾンセンター)

演者: Hong Jun, Jeon (Department of Psychiatry, Konkuk University Medical Center, Seoul)

招待講演 2-2. Prevalence and correlates of attention-deficit hyperactivity disorder symptoms in Korean nonclinical young adult population: prelimnary study

12月1日(土)14:40~15:10(第1会場)

座長:保坂 隆(聖路加国際病院リエゾンセンター)

演者: Jeong-Wan Hong (Department of Psychiatry, Iksan Hospital, Iksan, Jeonbuk)

くメインシンポジウム>

「緩和ケア」の未来とリエゾン精神医学の役割

11月30日(金)9:30~11:30(第1会場)

座長:西村 勝治 (東京女子医科大学医学部精神医学講座) 明智 龍男 (名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野)

1. 循環器疾患における緩和ケアの推進について

久保田陽介(厚生労働省健康局がん・疾病対策課)

2. 心不全緩和ケアにおけるリエゾン精神医学の役割

赤穂 理絵(東京女子医科大学医学部精神医学講座)

3. 神経疾患、特に神経難病に対する緩和ケア

荻野美恵子 (国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター)

4. 小児総合病院における緩和ケアサポートチームの活動

庄 紀子(神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科)

5. 指定発言

秋月 伸哉(がん・感染症センター都立駒込病院神経科)

<教育セミナー>

教育セミナー 1. 自殺対策のための基礎知識

11月30日(金)9:30~10:20(第3会場)

講師:遠藤 仁(岩手医科大学医学部災害·地域精神医学講座,岩手医科大学神経精神科学講座)

教育セミナー 2. 身体疾患を有する患者への精神療法

11月30日(金)10:30~11:20(第3会場)

講師: 木村 宏之(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野) 小林 清香(埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック)

教育セミナー 3. 明日から使える. 精神症状+身体疾患への精神科薬物療法

11月30日(金)15:40~16:30(第3会場)

講師:加藤 正樹 (関西医科大学精神神経科学講座) 松田 達也 (関西医科大学精神神経科学講座)

教育セミナー 4. 総合病院におけるアルコール医療~明日から始める入門編~

11月30日(金)16:40~17:30(第3会場)

講師:小松 知己 (沖縄協同病院リエゾンセンター / 心療科) 白坂 知彦 (手稲渓仁会病院精神保健科)

教育セミナー 5. 心身医学とリエゾン精神医学

12月1日(十)9:15~10:05(第3会場)

講師:保坂 隆(聖路加国際病院リエゾンセンター)

教育セミナー 6. せん妄

12月1日(土)10:15~11:05(第3会場)

講師:八田耕太郎 (順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック) 山内 典子 (東京女子医科大学八千代医療センター看護局)

教育セミナー 7. 精神科におけるてんかん診療

12月1日(十)15:10~16:00(第3会場)

講師:大島 智弘(愛知医科大学精神神経科)

教育セミナー 8. 電気けいれん療法(ECT)の正しいかけ方

12月1日(土)16:10~17:00(第3会場)

講師:上田 諭(東京医療学院大学保健医療学部)

くシンポジウム>

S1. 認知症サポートチームの現状と課題

11月30日(金) 9:30~11:30(第2会場)

座長:小田原俊成(横浜市立大学保健管理センター) 吉村 匡史(関西医科大学 精神神経科学教室)

- S1-1 高度急性期病院における認知症・せん妄サポートチームの現状と課題 見野 耕一(兵庫県立尼崎総合医療センター精神科)
- S1-2 認知症ケアチームの現状と課題:看護師の立場から 佐藤 典子(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター看護部)
- S1-3 認知症サポートチームの現状と課題:精神保健福祉士の立場から 畠山 啓(東京都健康長寿医療センター認知症支援推進センター)
- S1-4 認知症ケア加算と今後の課題 一般病院のベストプラクティス 小川 朝生 (国立がん研究センター東病院精神腫瘍科)

S2. 多職種チームの現状と、主科との連携の課題

11月30日(金)9:30~11:30(第6会場)

座長: 冨岡 直 (三井記念病院精神科) 白井 教子 (北里大学病院看護部)

- S2-1 バイプレーヤーズの醍醐味〜緩和ケアチーム活動で得られたビジョンとパッション〜 佐々木 史 (市立釧路総合病院精神神経科)
- S2-2 精神科リエゾンチームの現状と主科との連携について~リエゾンナースの立場から~ 木野美和子(筑波メディカルセンターリエゾン精神看護専門看護師)
- S2-3 認知症ケアチームおよび認知症アウトリーチチームの一員としての主科・他機関との連携:認知症疾患医療センターの心理職の立場から 扇澤 史子 (東京都健康長寿医療センター精神科)
- S24 様々な医療チームを受け入れる病棟看護師の立場から 佐藤 美紀(北里大学病院看護部)

S3. サイコネフロロジーから意思決定支援を考える

11月30日(金)15:40~17:40(第2会場)

座長:会田 薫子(東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター)押淵 英弘(東京女子医科大学精神医学講座)

- S3-1 透析導入時の意思決定支援 高野 公輔 (済生会横浜市東部病院心理室)
- S3-2 維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスの提言 政金 生人 (清永会腎不全総合対策室)
- S3-3 医療における高齢者の意思決定支援 サイコオンコロジーの立場から 小川 朝生(国立がん研究センター東病院精神腫瘍科)

S3-4 アドバンスケアプランニング―臨床現場での今までとこれからと 渡辺 敏恵(東京女子医科大学第一内科)

*日本サイコネフロロジー研究会とのジョイントシンポジウム

S4. 慢性疼痛の多職種マネジメント

11月30日(金)15:40~17:40(第6会場)

座長:宮岡 等(北里大学医学部精神科学)

小林 清香(埼玉医科大学総合医療センター)

S4-1 慢性疼痛に対する多面的評価と多職種介入への展開

笠原 諭 (東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター)

S4-2 慢性疼痛に対する運動療法

井上 雅之 (愛知医科大学運動療育センター/愛知医科大学医学部学際的痛み センター)

S4-3 心理士が参加する慢性疼痛に対する集学的治療

川居 利有(高清会高井病院麻酔ペインクリニック科ペインセンター)

S5. 総合病院における産後うつ病対策を考える一機能する多職種連携とは一

12月1日(土)9:15~11:15(第1会場)

座長:鈴木 利人 (順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック) 竹内 崇 (東京医科歯科大学医学部附属病院精神科)

S5-1 産後うつ病対策―産科医の立場から― 西郡 秀和 (東北大学病院産科・周産母子センター)

S5-2 1 か月健診時の産後うつ病スクリーニング―小児科医の立場から― 藤田 一郎(福岡女学院大学人間関係学部子ども発達学科)

S5-3 総合病院での周産期メンタルヘルス支援〜精神看護専門看護師の立場から 松岡 裕美 (東京医科歯科大学医学部附属病院看護部)

S5-4 専門外来と院内連携

安田 貴昭(埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック)

S5-5 産後うつ病対策―行政との連携について― 渡邉 博幸 (千葉大学社会精神保健教育研究センター/学而会木村病院)

S6. 地域リエゾンの展開と問題点

12月1日(土)9:15~11:15(第2会場)

座長:佐竹 直子 (国立精神・神経医療研究センター病院精神科) 小石川比良来 (亀田総合病院心療内科・精神科)

S6-1 認知症地域包括ケアシステム構築に向けた当地域での取り組み 内海久美子(砂川市立病院認知症疾患医療センター)

S6-3 精神科がない総合病院の精神科身体救急における精神科診療所からの往診システムの構築

窪田 幸久(中央公園クリニック/静岡県精神神経科診療所協会)

S6-4 地域リエゾンの展開と問題点:訪問看護ステーションからの提案・要望 中嶋 康子(訪問看護ステーション珊)

指定討論1

山田 健志 (がん研有明病院腫瘍精神科)

指定討論2

小石川比良来 (亀田総合病院心療内科・精神科)

S7. 心不全に対する緩和ケア

12月1日(土)9:15~11:15(第4会場)

座長:木村 宏之(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野)

成田 尚(北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室)

- S7-1 心不全に対する緩和ケア―循環器医が精神医療に求めるもの― 大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器センター循環器内科)
- S7-2 心不全患者に対する精神科的支援の実際例・精神科医師の立場より 大橋 綾子 (九州大学病院精神科神経科)
- S7-3 心不全に対する緩和ケア―慢性心不全看護認定看護師の立場から― 若林 留美(東京女子医科大学病院看護部)
- S7-4 心不全における緩和ケア―臨床心理士の立場から― 岸 辰一(名古屋大学医学部附属病院精神科)
 - *日本循環器心身医学会とのジョイントシンポジウム

S8. 自殺予防:総合病院精神医学が貢献できること

12月1日(土)9:15~11:15(第5会場)

座長:河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座) 織田 裕行(関西医科大学精神科)

- S8-1 総合病院で行われている自殺予防対策の現況 河西 千秋 (札幌医科大学医学部神経精神医学講座)
- S8-2 ジェンダー/セックスと自殺対策, そして地域へ 織田 裕行(関西医科大学精神神経科学講座)
- S8-3 総合病院における自殺予防: 依存症対策 中山 秀紀(久里浜医療センター)

S9. 治療の難しいせん妄のマネージメント

12月1日(土)9:15~11:15(第6会場)

座長:見野 耕一 (兵庫県立尼崎総合医療センター精神科)

山田 了士(岡山大学大学院精神神経病態学)

S9-1 がん終末期におけるせん妄マネジメント~その試行錯誤の日々~

佐伯 吉規(がん研有明病院緩和治療科)

S9-2 治療困難なせん妄のマネージメント パーキンソン病 (関連疾患) のせん妄 諏訪 浩 (東京共済病院精神科心療内科)

S9-3 認知症を基盤とするせん妄

上村 直人(高知大学医学部神経精神科学教室)

S9-4 難治性のせん妄に対する評価とアプローチ 井上真一郎(岡山大学病院精神科神経科)

S10. リエゾンのエキスパートになるための行動科学の視点

12月1日(土) 15:10~17:10(第1会場)

座長:岸 泰宏(日本医科大学武蔵小杉病院精神科) 小林 清香(埼玉医科大学総合医療センター)

S10-1 患者・家族ケアと医療者支援に活かす行動科学〜コンサルテーションの場面から〜 宮田 郁 (大阪医科大学附属病院看護部)

S10-2 コンサルテーションにおけるスタッフ支援に生かす行動科学 五十嵐友里(東京家政大学人文学部、埼玉医科大学総合医療センターメンタル クリニック)

S10-3 慢性疾患のセルフケア支援に活かす行動科学 内田 邦子 (東京女子医科大学病院看護部)

S10-4 身体疾患に伴う不眠対策に活かす行動科学

角谷 寛(滋賀医科大学睡眠行動医学講座)

指定発言

鈴木 伸一(早稲田大学人間科学学術院)

S11. 総合病院精神科医に求められる災害時の対応

12月1日(土) 15:10~17:10(第2会場)

座長: 高橋 晶 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター/筑波メディカルセンター病院)

野原 茂(富山県立中央病院精神科)

S11-1 東日本大震災及び原発事故から7年が過ぎて、被災地では何が問題になっているのか?

本田 教一(松村総合病院リエゾン科/舞子浜病院)

S11-2 石巻赤十字病院へのリエゾン支援より総合病院精神科医の災害時対応を考える 佐藤 茂樹 (成田赤十字病院精神神経科) S11-3 女性目線から見た災害精神支援

岬 美穂 (国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

S11-4 災害時において総合病院精神科医に望むこと

河嶌 譲(国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

S12. 私たちが"リエゾン"を選び、そしてハマった理由 #若手精神科医からの本音トーク 12月1日(土) 15:10~17:10(第4会場)

座長:和田 健(広島市立広島市民病院精神科)

佐伯 吉規(がん研有明病院緩和治療科)

S12-1 刺激的な私の「がんセンター LIFE |

平山 貴敏 (国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科)

S12-2 精神科病院からのキャリアチェンジ―精神科立ち上げてみました― 齋藤 円(市立ひらかた病院精神科)

S12-3 ココロもカラダも救う!―精神科と救命センターの協働― 兼久 雅之(東京都立松沢病院精神科)

S13. 小児精神のリエゾン

12月1日(土)15:10~17:10(第6会場)

座長:高橋 雄一(横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター)

立花 良之(国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科)

S13-1 子ども虐待対応院内組織 (CPT) と医療機関間ネットワークの実際—横浜市の 取り組み—

高橋 雄一(横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター)

S13-2 神奈川県における小児摂食障害入院連携システム運用の実際 南 達哉(神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科)

S13-3 小児のコンサルテーション・リエゾン―こどもサポートチームにおける多職種連携―

山口 有紗(国立成育医療研究センターこころの診療部)

S13-4 地域医療機関との連携〜国内有数の児童・思春期精神科病棟を持つ拠点病院として〜

長沢 崇(東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科)

<ワークショップ>

WS1. 若手医師・多職種のためのせん妄予防と治療 2018

11月30日(金) 9:30~11:30(第4会場)

座長:八田耕太郎(順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック)

岸 泰宏(日本医科大学武蔵小杉病院精神科)

演者:岸 泰宏(日本医科大学武蔵小杉病院精神科)

山田 雅子(金沢大学附属病院看護部)

ファシリテーター:

岸 泰宏(日本医科大学武蔵小杉病院精神科)

押淵 英弘 (東京女子医科大学神経精神医学講座)

八田耕太郎(順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック)

武藤 仁志 (東京医科歯科大学精神科)

和田 健(広島市民病院精神神経科)

- ・定員:40名(1班8名で計5班)
- ・参加申込方法:要事前参加申込。第31回日本総合病院精神医学会総会ホームページ (http://procomu.jp/jsghp2018/index.html) よりお申込みください。

WS2. 身体合併症に配慮した電気けいれん療法 (ECT) の症例グループディスカッション 11 月 30 日 (金) 9:30 ~ 11:30 (第5 会場)

司会:諏訪 太朗(京都大学医学部附属病院精神科神経科) 設問解説: 嶽北 佳輝(関西医科大学精神神経科学教室)

企画:総合病院精神医学会 ECT 委員会

ファシリテーター:

青木 宣篤 (関西医科大学精神神経科学教室)

川島 啓嗣(公立豊岡病院組合立豊岡病院精神科)

栗本 直樹 (滋賀医科大学精神科, 滋賀里病院),

田村 赳紘 (東京医科歯科大学医学部附属病院精神科)

坪井 貴嗣(杏林大学医学部精神神経科学教室)

安田 和幸(山梨大学医学部精神神経医学)

- · 定員: 36~42名
- ・参加申込方法:要事前参加申込。第31回日本総合病院精神医学会総会ホームページ (http://procomu.jp/jsghp2018/index.html) よりお申込みください。

WS3. 無床カフェ「果たして無床総合病院精神科医は必要か?」

11月30日(金)14:00~15:30(第4会場)

座長:佐伯 吉規(がん研有明病院緩和治療科)

平 俊浩(福山市民病院精神科・精神腫瘍科)

・参加申込方法:当日先着順でご参加いただけます。

WS4. 医療の現場で子どもと親子のトラウマやストレスに対処する

―トラウマの医学と治療の現在を踏まえて

11月30日(金)15:40~17:40(第4会場)

座長:加茂登志子(若松町こころとひふのクリニック)

金 吉晴 (国立精神・神経医療研究センター)

演者:加茂登志子(若松町こころとひふのクリニック)

金 吉晴 (国立精神・神経医療研究センター)

上田英一郎 (大阪医科大学医療安全推進部)

- ・参加申込方法:要事前参加申込。第31回日本総合病院精神医学会総会ホームページ (http://procomu.jp/jsghp2018/index.html) よりお申込みください。
- ・先着順で当日参加も可能でございます。

WS5. 死の恐怖を背景に,激しい怒りを呈する患者のコンサルテーション〜精神腫瘍学研修会〜11月30日(金)15:40~17:40(第5会場)

座長:清水 研(国立がん研究センター中央病院)

武村 尊生(東北福祉大学福祉心理学科)

症例提示担当:安井 玲子 (虎の門病院精神科)

ディスカッサント:

和田 信(大阪国際がんセンター心療・緩和科)

林田由美子(虎の門病院看護部)

花村 温子(埼玉メディカルセンター心理療法室)

河野 勤(杏雲堂病院腫瘍内科)

秋月 伸哉(がん・感染症センター都立駒込病院神経科)

・参加申込方法: 当日先着順でご参加いただけます。

WS6. 一般病院と単科精神科病院・精神科クリニックをつなぐ地域リエゾン・カフェ 12月1日(土)13:30~14:30(第2会場)

企画:「地域リエゾン」を考える会

橋本 学 (肥前精神医療センター精神科)

小石川比良来(亀田総合病院心療内科·精神科)

・参加申込方法:当日先着順でご参加いただけます。

WS7. 病棟やチームの未来のために"やるべきこと"と"やらなくていいこと"を考えよう12月1日(土)15:10~17:10(第5会場)

ファシリテーター:

中嶋 義文 (三井記念病院精神科)

満田 大(三井記念病院精神科)

山内 典子 (東京女子医科大学八千代医療センター)

河野佐代子(慶應義塾大学病院看護部・医療連携推進部)

富安 哲也(亀田総合病院臨床心理室)

上田 将史(亀田総合病院臨床心理室)

早坂 友成(杏林大学保健学部作業療法学科)

岩蕗かをり (神戸市立医療センター西市民病院)

馬場 知子(自治医科大学附属さいたま医療センター)

- ・定員:40名
- ・参加申込方法:要事前参加申込。第31回日本総合病院精神医学会総会ホームページ (http://procomu.jp/jsghp2018/index.html) よりお申込みください。
- ・定員に空きがございましたら当日先着順でご参加いただけます。

<金子賞受賞記念講演>

精神科リエゾンチームによるせん妄ラウンド―能動的同定による在院日数の短縮の可能性― 11 月 30 日(金)13:10 ~ 14:10(第 1 会場)

座長:保坂 隆(聖路加国際病院)

演者:山崎 真平(京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室)

< PEEC コース>

身体科救急スタッフに向けた精神症状を有する救急症例への標準的な精神科的初期診療とケア
— PEEC (Psychiatric Evaluation Emergency Care) 公開コース—

12月1日(土)9:00~13:00 (東館 9F:研修室 910)

主催:第31回日本総合病院精神医学会総会,日本総合病院精神医学会自殺問題委員会

共催:日本臨床救急医学会

内容:4時間のワークショップで、模擬症例をもとにしたファシリテーター、コースアシスタントと受講生とのグループディスカッション。自傷・自殺未遂症例、過換気症例、幻覚妄想症例、違法薬物使用症例の4例。

目的:精神科的問題を有する救急患者に標準的な初期評価,初期診療を提供するため, 救急医療スタッフとして必要な医学的知識,コミュニケーション,入院管理,リ ソースの有効活用.外来フォローアップへのつなぎ方を習得する。

司会:三宅 康史(帝京大学医学部救急医学講座) 大塚耕太郎(岩手医科大学神経精神科学講座)

コースコーディネーター:

日野 耕介(横浜市立大学医学部精神医学)

ファシリテーター:

井上 幸代 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

金井 貴夫 (東千葉メディカルセンター)

兼久 雅之(東京都立松沢病院)

木本啓太朗(東海大学医学部専門診療学系精神科学)

田中 裕記 (九州大学病院精神科神経科)

日野 耕介(横浜市立大学医学部精神医学)

コースアシスタント:

奥野 史子 (伊勢赤十字病院)

木野美和子 (筑波メディカルセンター)

小林いつか(国家公務員共済組合連合会立川病院)

佐々木由里香(山梨県立中央病院)

二宮 美香(日本医科大学武蔵小杉病院)

お問い合わせ先:横浜市立大学附属市民総合医療センター 日野 耕介

Email: hino@vokohama-cu.ac.jp

*事前登録を済まされている受講生の方は20分前から会場前で受付を行います。それ以外の方は見学のみとなり、受付の必要はございません。多数の精神科医療スタッフの皆さまのコース見学とコースに対するご意見を歓迎いたします。

くランチョンセミナー>

LS1. 更年期女性の不眠とその治療

11月30日(金)12:10~13:00(第1会場)

座長:内山 真(日本大学医学部精神医学系精神医学分野) 演者:松島 英介(東京医科歯科大学附属病院心身医療科)

共催:アステラス製薬株式会社

LS2. 精神科治療に伴う身体リスクの管理

11月30日(金)12:10~13:00(第2会場)

座長:村井 俊哉 (京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学))

演者:古郡 規雄(弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座)

共催:大塚製薬株式会社

LS3. 不安症治療における SSRI の作用機序の神経科学的理解

11月30日(金)12:10~13:00(第3会場)

座長:水野 雅文(東邦大学医学部精神神経医学講座)

演者:井上 猛(東京医科大学精神医学分野) 共催:持田製薬株式会社/吉富薬品株式会社

LS4. リエゾン精神科医の不眠診療

11月30日(金)12:10~13:00(第4会場)

座長:赤穂 理絵(東京女子医科大学神経精神医学講座)

演者:平 俊浩(福山市民病院精神科・精神腫瘍科)

共催: MSD 株式会社

LS5. 慢性便秘症診療の最前線~精神疾患に伴う便秘症を踏まえ~

11月30日(金)12:10~13:00(第5会場)

座長:早川 達郎 (国立国際医療研究センター国府台病院精神系統括診療部門)

演者:中島 淳(横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室)

共催:マイラン EPD 合同会社

LS6. メンタルヘルス不調からの社会復帰~職場と如何に連携するのか~

11月30日(金)12:10~13:00(第6会場)

座長:川嵜 弘詔(福岡大学医学部精神医学教室)

演者:井上 幸紀(大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学)

共催:ファイザー株式会社/大日本住友製薬株式会社

LS7. レビー小体型認知症(DLB)の治療戦略

12月1日(土)12:30~13:20(第2会場)

座長:小田原俊成(横浜市立大学保健管理センター)

演者:小林 良太(山形大学医学部精神医学講座)

古和 久朋(神戸大学大学院保健学研究科)

共催:大日本住友製薬株式会社

LS8. 外来でできる勤労者うつ病治療の一工夫

12月1日(土)12:30~13:20(第3会場)

座長:山寺 亘 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター精神神経科)

演者:堀輝(産業医科大学医学部精神医学教室)

共催: Meiji Seika ファルマ株式会社

LS9. 総合病院で一般精神科医が診る ADHD

12月1日(土)12:30~13:20(第4会場)

座長:三村 將(慶應義塾大学精神科)

演者:桐野 衛二 (順天堂大学医学部付属静岡病院メンタルクリニック)

共催:塩野義製薬株式会社/シャイアー・ジャパン株式会社

LS10. うつ病治療におけるリカバリー・ギャップの克服に向けて

~外来の 10 分間でできること~

12月1日(土)12:30~13:20(第5会場)

座長:中村 純(北九州古賀病院)

演者:菊地 俊暁(慶應義塾大学)

共催:日本イーライリリー株式会社/塩野義製薬株式会社

LS11. 双極性障害の疾患概念と薬物療法

12月1日(土) 12:30~13:20 第6会場

座長:秋山 剛 (NTT 東日本関東病院精神神経科)

演者:仁王進太郎(東京都済生会中央病院精神科(心療科))

共催: 共和薬品工業株式会社